

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 長沼町

上位関連計画にみる地域の将来
 ○パリ協定における日本の目標：2013年度比で2030年までに26%削減、さらに2050年までに80%削減
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、
 2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量/実質GDP）35%減。
 ○人口目標 現在：11,076人(2015年)、将来：8,300人(2040年)、6,300人(2060年)（第2期長沼町人口ビジョン(案)）
 ○社会移動 現状：▲43人(2018年)→目標：プラスに転化(2024年)（第2期長沼町まち・ひと・しごと総合戦略(案)）
 ○合計特殊出生率 現状：1.43(2012年)→目標：1.65(2024年)（第2期長沼町まち・ひと・しごと総合戦略(案)）

②具体的なアクション
 タンチョウも住めるまちづくりの各種取組の担い手としてサポーター制度の設立を検討する。
 呼び戻す会を主体とした見守り活動や指導者付き視察会の開催検討など、タンチョウ定着促進のための普及啓発を行う。
 企業や地銀の巻き込みを通じて、舞鶴遊水地や近隣の遊休施設を活用した取組・活動の拠点整備を検討する。
 意欲のある農家と協力して、環境に配慮した農業を検討するとともに、ブランド価値の高い農産物の売り込みを行う。
 町内の商店等と協力して、タンチョウをシンボルとした商品を開発・販売する。
 町内学校やグリーン・ツーリズム運営協議会と協力して町内外の子どもに向けた環境学習の機会を作る。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2020年度末)	実績値 (2020年度末)	単位
環境	動植物の状況	タンチョウの営巣・繁殖	0	1		箇所
	農地の状況	タンチョウ農業(仮)の検討	0	1		要件
経済	商工への還元	タンチョウ関連商品数	8	15		件
	観光への還元	年間舞鶴遊水地利用者数	392	450		人
	町政への還元	ふるさと応援寄附件数(タンチョウ) [※]	152	200		件
社会	取組の浸透・定着	ロゴマーク承認数	9	20		件
	取組の浸透・定着	年間イベント開催・出展数	10	12		回
	行動が変わる	見守り活動参加者数	18	20		人
	行動が変わる	サポーター制度の設立	0	1		制度
	環境学習	タンチョウ授業実施校数	2	3		校
	グリーン・ツーリズム	舞鶴遊水地活用農家数	2	10		軒

※現状値は1月末時点の申請ベース

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

タンチョウも住めるまちづくりは、環境と経済・社会が相互に好影響を及ぼし地域が形成されることを目指しており、（環境面）タンチョウの繁殖・定着、（経済・社会面）タンチョウによる地域経済活性化・社会形成が目標となります。
 しかし、現在、タンチョウは必ずしも地元の人全ての人に受け入れられているわけではありません。農業者にとっては、食害や観光客が農作業に悪影響をもたらすのではないかなどの懸念があります。
 そこで、経済・社会面の短期目標は環境学習の促進、ロゴマークの活用、タンチョウ関連商品の販売など、タンチョウへの愛着醸成のための取組に関わる事項を設定しました。
 これらを通じて「長沼町＝タンチョウも住めるまち」のイメージを形成し、長期的には農業や観光など町の産業にも良い影響をもたらすことを目指します。
 また、環境面でも、タンチョウへの愛着が醸成され、地域ぐるみでタンチョウを見守る雰囲気形成が形作られていくことで、タンチョウの定着を促進することができます。
 その他の環境面の目標としては、タンチョウにも優しい農業を町内で確立すべく、短期的には農法の検討、長期的には町内での農法の広がりを目指していきます。

①目指すべき姿
 ※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください
 → ○タンチョウの繁殖・定着
 舞鶴遊水地を拠点として長沼町内でタンチョウが繁殖できる環境を構築し、タンチョウの定着を目指す。
 ○地域経済の活性化
 タンチョウをシンボルとして、農業や観光などの産業のブランド価値を高め、地域経済に還元される仕組みを構築する。
 ○対流型地域形成
 環境学習等により子ども達も含め地域ぐるみでタンチョウを見守る町をつくる。
 → 千歳川流域の近隣他市町との連携を深め、流域全体での生態系ネットワーク構築を目指す。

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2020年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	動植物の状況	タンチョウの営巣・繁殖	0	1	2030年度	2	箇所
	農地の状況	タンチョウ農業(仮)取組面積	0		2050年度	50	ha
経済	観光への還元	年間舞鶴遊水地利用者数	392	450	2030年度	1,000	人
	観光への還元	観光入込数	72		2024年度	100	万人
	農業への還元	農畜産物生産販売額	7,058,721	7,934,840	2021年度	7,987,740	万円
	町政への還元	ふるさと応援寄附件数(タンチョウ) [※]	152	200	2030年度	500	件
社会	取組の浸透・定着	ロゴマーク承認数	9	20	2030年度	100	件
	行動が変わる	見守り活動参加者数	18	20	2030年度	50	人
	行動が変わる	サポーター数	0	15	2030年度	50	人
	環境教育	タンチョウ授業実施校数	2	3	2030年度	3	校
	グリーン・ツーリズム	舞鶴遊水地活用農家数	2	10	2030年度	20	軒